

2学年だより 「飛躍」 1月 2

◎ 立志スキー宿泊学習特別号

1月19日(日)から21日(火)までの3日間、福島県猪苗代町の「ヴィライナワシロ」に、立志スキー宿泊学習に行ってきました。栃木とは違った、雄大な雪景色の中、無事に「スキースクール」を行うことができました。少し雪がちらつきましたが、ゲレンデは絶好のコンディションでした。初めてスキーをやった生徒も、3日目には技術が身に付いて、上手に滑れるようになりました。

1日目夜には、厳粛な中「立志式」を実施しました。一人一人が誓いの言葉を大きな声で述べ、保護者の皆様に御協力いただいた立志カードを読んで、深く感動し、親への感謝を手紙に表すことができました。

また、2日目夜には、立志記念活動として「赤ベコの絵付け体験」を行いました。慣れない作業でしたが、各自がオリジナルの赤ベコを作り上げました。

ここまで準備してきた期間を含め、生徒たちは3日間で心身共に大きく成長したと実感します。引き続き、この成果を深化させられるように、学年職員一同支援していきたいと思います。



☆ 立志スキー宿泊学習の感想 ☆

僕は、スキーをやるのが初めてで、滑れるようになれるのか、とても不安でした。しかし、インストラクターの方々が、優しく丁寧に指導してくださったおかげで、最後は滑ることができるようになりました。とても楽しい時間を過ごすことができ、よい思い出を作ることができました。

(2-1 安藤 佑典)

今回初めてスキーをしました。いきなりリフトに乗り、とても怖かったです。雪の上を歩くだけでも難しく感じました。最初は、自分の思う方向に滑ることができず、落ち込んだりしましたが、インストラクターさんが丁寧に分かりやすく教えてくれたおかげで、最後は滑ることができました。諦めないで努力することが大切だと学びました。(2-1 近藤 礼佳)

僕は、スキーの経験がなかったので、インストラクターさんに一から指導してもらいました。初日は、スキーのブーツを履くだけで大変でした。2日目は、インストラクターさんのあとを、必死でついて行きました。3日目は、自分自身で滑ることができるようになりました。とてもいい思い出になりました。

(2-2 岩本 直樹)

今回のスキースクールでは、スキーの経験があった人もなかった人も、全員が楽しんでできたと思います。雄大な自然の中でスキーをすることができる、とてもよかったです。インストラクターさんにお世話になり、3日間でスキーが驚くくらい上達して、本当に嬉しかったです。

(2-2 小堀 裕彦)

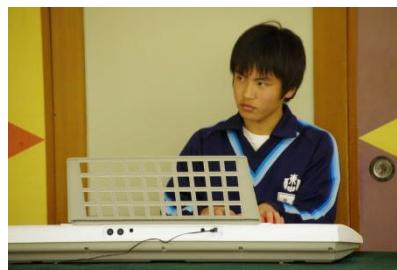
私は、今回初めてスキーをやりました。最初はうまくできるか不安でしたが、インストラクターさんの熱心なご指導のおかげで、不安なく滑ることができました。転んだりしましたが、班の仲間が手を取って起こしてくれたりして、より仲を深めるいい機会でした。今回を機に、家族でもスキーに行きたいと思いました。

(2-3 川崎 彩奈)

僕は小さい頃、スキーでケガをしたことがあるので、最初は少し怖かったのですが、班のメンバーと一緒にやっていくにつれて、とても楽しくなっていきました。最終日に代表でデモンストレーションをして、少しミスをしましたが、本当にいい思い出になりました。とても楽しかったです。

(2-3 杉戸 優佑)

<自分の決意を新たにしました！1/19日「立志式」>



☆ 立志式の感想 ☆

今まで僕は、積極的に発言ができなかったので、立志式で「周りの意見に流されず、自分の意見を最後まで主張できる人になる」と誓いを立てました。そして、みんなの誓いの言葉を聞いて、僕ももっと頑張ろうと思いました。また、両親からの手紙には、いつも自分を応援してくれていることが書いてあり、とても嬉しかったです。(2-1 荒川 弾)

立志式を迎えて、今まで振り返り、将来について考えることができました。今まであまり将来のことを考えたことがなかったので、本当にいい機会になりました。式典の中で誓った「学年誓いの言葉」や「個人誓いの言葉」を達成できるように、これから的生活で頑張っていきたいです。

(2-1 根本 菜緒)

今回の立志式を通して、大人に一步近づくことができたと思います。夢や目標を叶えることができるよう、これから努力していきたいと思います。合唱も、みんなで心を一つにして歌うことができました。そして、保護者からのメッセージでは、今まで育ててくれた両親に感謝の心を持つことができて、とてもいい思い出になりました。(2-2 小倉 秀斗)

今回の立志式で、一人一人が今まで振り返り、これからの目標を立てることができたと思います。それぞれの誓いの言葉は、自分のなりたい姿がしっかりと描かれていました。誓った言葉のように、立派な人に成長していきたいです。とても感動的で、思い出に残るいい立志式だったと思います。

(2-2 神山 アンリ)

僕は、合唱の指揮をやりました。本番は、今まで歌ってきた中で、最高の合唱ができたと思います。スライド写真を見て、小さい頃の映像はとても懐かしく、これだけ成長できただんだと、自分の目で確かめることができました。今まで育てくれた全ての方々に感謝し、これからは自分たちで何事にも取り組めるようにしたいです。(2-3 小槌 翔斗)

立志式を終えて、2年生全員が一回り大きく成長することができたと思います。リハーサルの時、私は大きな声で誓いの言葉を言えなかったのですが、本番では恥ずかしい気持ちを振り切って、大きな声で誓いの言葉を言い、歌を歌うことができました。立志式で誓った言葉を忘れずに、これから生活していきたいです。

(2-3 西野 莉穂)

＜将来の夢を堂々と発表しました！「立志作文発表」＞

「僕の夢」 2年1組 渡邊 大貴

僕には夢があります。それは、プロサッカー選手になることです。なぜプロサッカー選手になりたいと思ったかというと、小学生の時からの夢であり、サッカーが大好きだからです。そして、なぜタイトルを「僕の夢」にしたかというと、立志を迎えるにあたって、自分の将来と向き合ったかったからです。でも、いざ自分の夢について書き始めてみると、あまり書くことが思うように思いつきませんでした。まだ自分の夢について深く考えるのは、少し早いかもしれません。しかし、今自分が掲げている夢に向かって努力することは、大切だと思います。

僕は今、クラブサッカーチームでサッカーをやっています。クラブチームは部活動と少し違って、サッカーに費やす時間が多いです。それに、サッカー選手になりたいとみんなが思っているはずです。みんな同じ夢を持っていても、プロになることができるのはほんの一部です。その一部に入るために、今のチームの仲間も他のチームの人も一生懸命頑張っています。チームメイトはもちろん、他のチームの人もみんなライバルです。その中でどう生き残っていくかというと、それは練習あるのみだと思います。それも、ただ単に練習をするのではなく、自分の欠点を克服したり、自分の良い点を伸ばすために目標を掲げて、みんなより多くボールに触れたりすることが大切だと思います。そうすれば、練習した分、必ず自分の身に付くし、そして上手になれば、自分自身のモチベーションも上がります。それでも満足せず、努力し続ければもっと上手になります。

僕は、まだまだ下手です。でも、そこから逃げるのではなく、今回の立志を良い機会に、人一倍努力していきたいと思います。勉強も同じように逃げるのではなく、立ち向かっていきたいです。そして、お互いを高め合うことができる仲間たちと共に、夢に向かって一步ずつ近づいていきたいです。

「立志を迎えるにあたって」 2年3組 塙田 梨奈

私は将来、いろいろな人を支えられる人になりたいです。

今までの私は、たくさんの人に支えられてきました。支えられていることは分かっていても、感謝の気持ちはなかなか伝えられていませんでした。恥ずかしいという気持ちがあっても、伝えていればよかったと思います。

私が支えられていて感じることは、特に3つあります。

一つ目は、感謝です。支えがなければできなかつたことが多く、私にとって支えは必要なものです。だから、感謝の気持ちはいつも忘れません。しかし、伝えないので意味がなくなってしまうので、伝えるようにしていきたいと思います。

二つ目は、自立です。支えがないとできないことも、まだまだたくさんありますが、少しずつできることを増やしていきたいと思っています。そのためにも、あきらめないで何事にも挑戦していきたいです。

三つ目は、自分も支えられるようになりたいということです。私は、今まで多く支えられてきました。だから今度は、自分が支える側になりたいと思っています。そして、私が安心できたように、たくさんの人を安心させたいです。

最近でも、あらためて支えられていると感じことがあります。私は、感謝の気持ちを伝えられなかつたことが多かったので、自分の思いを相手に伝えることの大切さを学びました。

これからは、感謝の気持ちを伝えて、少しずつ自分でできることを増やし、更に自分がたくさんの人を支えられるようにしたいと思います。そのためにも、普段から支えられていることを忘れず、自分の気持ちを相手に伝え、努力をして、この目標を達成させたいです。



＜赤ベコ制作！1/20月「立志記念活動」＞



☆ 立志記念活動の感想 ☆

最初は赤ベコという物がよく分からず、上手く作れるか不安でしたが、教えてもらひながらなんとか完成させることができました。赤ベコは、福島の伝統民芸品ということで、福島について少し知ることができました。おもしろい体験をすることができ、とてもよかったです。

(2-1 大沼 夏海)

赤ベコづくりを体験してみて、頭を押すとなぜ上下に揺れるのか不思議でしたが、釘が入っていたことにも驚きました。色付けを自分でして、自分だけの赤ベコができる嬉しかったです。このような機会はあまりないと思うので、とても楽しく、いい思い出になりました。

(2-1 奈良部 紗香)

全員が、赤ベコづくりにしっかりと取り組むことができました。一人一人が個性的な赤ベコを制作し、立志記念活動としていい思い出ができました。この体験を通して、福島の伝統に触れることができてよかったです。とても楽しかったです。

(2-2 大森 祐希)

赤ベコは、伝染病が流行したとき、これを持っていた人は災難を逃れることができ、縁起物のお守りとして有名になりました。そんな赤ベコを作ることができ、いい思い出になりました。絵付けでは、一人一人のデザインが違うので、世界に一つしかない自分だけの赤ベコを作ることができました。

(2-2 寺内 ちひろ)

糸や針を使って、顔と胴体を組み合わせる作業が、なかなかうまくいきませんでしたが、友達と協力して作りあげることができました。仕上がりは、とてもかわいらしい赤ベコになりました。友達の見ると、模様の代わりに決意が書かれていたものもありました。この制作を通して、友達との絆も深まったと思います。

(2-3 中田 千鶴)

赤ベコ制作を通して、福島県の伝統に触れることができた気がします。赤ベコには魔除けなどの効果があると聞き、驚きました。作り方が分からぬ所を教え合ったりしたので、友情も深まったと思います。同じ物が2つないマイ赤ベコができました。大切に持つていいと思います。

(2-3 村井 太一)

○ 食事風景・・・たくさん食べました！？

